

花に想う

私の趣味の一つにガーデニングと観葉植物収集があります。

花を見ると心が癒されます。

ホームセンターやスーパーに行くについつい園芸コーナーに立ち寄って、珍しい花や観葉植物があると買ってしまいます。

買って来た後、花に元気がなくなると何とか回復させようとお水をやりすぎて根腐れをさせてしまいます。花は鉢の表面の土が乾いたら十分にお水をあげて、底から流れ出るくらいにするのが良いようです。これが分かったのは、プラスチックの空の鉢が山積みになってからですが。約1坪の狭い庭にあれこれ植えて今はジャングル状態です。

金木犀、ソテツ、グレープフルーツ、ホンコンカボック、ユッカなどなどです。グレープフルーツやユッカは3mくらいになりました。まるでトトロの世界です。

先日、小豆島のオリーブテラスというところに行って、千年のオリーブの木からとったオリーブの盆栽を買いました。千年のオリーブの木はスペインからはるばる小豆島にやってきたということです。緑の葉に緑のコケで白い鉢に入っているのを見ると一目で気に入りました。

しかし、盆栽についての知識のない私でしたので、水のやり方もわからず、また、いつものようにだんだんと元気がなくなっていました。そこで狭いのですが、庭への地植えを行ったところ、この春にぐんぐん成長して綺麗な芽が出て綺麗な葉になってきています。

花を見るとアルファ波が出るようです。ゆったりした幸せな感覚になります。

アルファ波は、集中時や快眠中など、脳がリラックス状態なときに多く出現する脳波です。

また、私たちがお花を見たり頂いたりしたとき、①ドーパミン②オキシトシン③セロトニン④エンドルフィンという4つの物質が分泌されるということです。

これらは「幸せホルモン」と呼ばれ、これらの分泌によりストレスが和らぎ幸福感が得られ、モチベーションがアップするなどの効果があると言われています。

お花を見ていると、和やかな気持ちになり、心が落ち着いてリラックスできるのは、こうした脳の働きにあるようです。

花の色別の効果としては、次のようなことが言われています。

赤：情熱や活力を感じ、やる気が出て、

前向きな気持ちになれる。

ピンク：優しい気持ちになれる。

晴れやかな気持ちになれる。

黄：気分が明るくなり、幸せで陽気な気持ちになれる。

緑：安らぎや落ち着きを感じ、疲れが癒され、穏やかな気持ちになれる。

青：さわやかな色で、落ち着いた気持ちになれる。

紫：ハッとして気分が切り替えられ、感性が刺激される。

白：すっきりとした気分になり、軽やかな気持ちになれる。

先日、南淡路にあるイングランドの丘に行ってきました。広大な敷地にたくさんの花が咲いていました。特に白と淡いブルーのネモフィラの畑は壮大で感激しました。

イングランドの丘には植物だけではなく、動物園も併設しており、様々な小動物や鳥類、かわいらしいコアラの親子もいます。



出典：イングランドの丘フォトコンテスト案内

6月になると梅雨入りですね。紫陽花の綺麗なシーズンです。梅雨のシーズンには紫陽花が似合います。

私は知らなかったのですが、調べてみると、紫陽花は日本が原産地とのことです。県内にも紫雲出山、粟井神社、白峯寺、番の州公園、国営讃岐まんのう公園、出釈迦寺、勝名寺、白鳥温泉あじさいロード遊歩道、鴨部川あじさい夢ロードなどいろいろな場所で綺麗な紫陽花を見ることができます。

私が東京勤務の時は電車通勤で梅雨のシーズンは困りましたが、今は香川県に住んで本当に良かったと実感しています。

小さな現象にも感謝して、梅雨を嫌わず心にゆとりを持ちたいものです。



紫雲出山の紫陽花 出典：無料画像



梅澤 秀樹

(中小企業診断士)

Hideki
Umezawa

中央会だより1

中央会助成事業について

「事業環境変化対応型支援事業」

本会では、適格請求書等保存方式(以下、インボイス制度)への対応及びインボイス制度対応に必要なデジタル化対応へ向けて、専門家の派遣などを通じて対応する組合に補助を行います。

事業内容

インボイス制度(インボイス制度対応に必要なデジタル化対応を含む)への対応

補助対象経費 専門家謝金・専門家旅費・会場借上料・印刷費

応募締切 令和6年12月27日(金)

お問い合わせ先 香川県中小企業団体中央会 事業振興部 上乃

「制度改正等の課題解決環境整備事業」

本会では、労働法制、税制度、民法等の制度改正をはじめとした諸制度改正等によって生じる中小企業組合の課題等に対して、研修会の開催などを通じて対策する組合に補助を行います。

事業内容 ※以下のいずれかに該当するテーマが対象となります。

- (1) 働き方改革・税制度(インボイス制度は除く)・民法等の制度改正への対応
- (2) 事業再構築支援施策、事業承継、経営資源集約化、事業継続力強化計画、連携事業継続力強化計画策定、生産性向上、デジタル化で、各種制度改正に対するために行うもの

補助対象経費 専門家謝金・専門家旅費・会場借上料・印刷費

応募締切 令和6年12月27日(金)

お問い合わせ先 香川県中小企業団体中央会 事業振興部 中井

「取引力強化推進事業」

事業内容

中小企業・小規模事業者の連携による取引力強化促進を図るために実施する、共同販売・宣伝、組合員の事業・企業紹介等のための組合が行うホームページやチラシの作成等共同事業の活性化・組合員の受注促進等の取り組みに対して支援します。

- (1) 共同事業活性化

共同購買や共同宣伝の活性化のため、組合事業や組合員の企業・事業紹介等を行う組合がホームページやチラシ等の検討や作成等を行う事業

(2) 受注促進

共同受注促進のため、組合ブランド商品のホームページやチラシ等の検討や作成等を行う事業

(3) ブランド構築

連携によるブランド構築を目指す事業であって、共同宣伝、共同受注の実現に向けたブランドコンセプト、運用基準、ロゴ、統一パッケージ等の検討・作成を行う事業

(4) 取引条件改善

団体協約の締結や取引条件の改善に向けた交渉等、組合員の取引条件の改善、構造改革を促進するために行う事業

(5) 取引力強化

業界の特徴等を踏まえて行う中小企業・小規模事業者の取引力強化を促進するための事業

補助対象者

構成員の2分の1以上が小規模事業者（常時使用する従業員の数が20人以下（商業又はサービス業を主たる事業とする事業者については5人以下））である組合

補助金額 25万円以内

補助率 補助対象経費総額（税抜き）の3分の2以内

補助対象経費 謝金、旅費、消耗品費、会議費、印刷費、会場借上料、雑役務費、通信運搬費、委託費

応募締切 令和6年7月31日（水）

お問い合わせ先 香川県中小企業団体中央会 事業振興部 元家

「小企業者組織化特別講習会開催事業」

事業内容

小企業者組合の役職員及び小規模事業者を対象に、組織制度、共同事業、経営、経理・税務、労働、法律、中小企業施策等について講習を行い、小企業者組合の運営の向上、小規模事業者の経営の向上等を図るための事業です。

補助対象者

構成員の4分の3以上が小規模事業者（常時使用する従業員の数が5人以下（商業又はサービス業を主たる事業とする事業者については2人以下））である組合

補助金額 7万円以内

補助率 補助対象経費の3分の2以内

補助対象経費 謝金、旅費、会場借上料、資料費、通信運搬費、消耗品費

応募締切 令和6年7月31日（水）

※なお、この事業は香川県中央会の直接執行ですので実施内容、補助対象経費、補助金額、補助率等に関しましては計画段階で事前にご相談下さい。

お問い合わせ先 香川県中小企業団体中央会 事業振興部 元家

中央会だより 2

組合事務局代表者等研修会を開催

本会は5月17日、本会研修室（高松市）において組合事務局代表者等研修会を開催し、組合役職員25名が出席しました。

今回は、講師に税理士の古川修氏をお迎えし、「協同組合等の法人税申告手続きについて」をテーマに、組合法上の決算書における剰余金の処分方法や法人税申告手続きにおける注意点、税務申告書類の書き方などについて、実務面を中心に事例を用いて解説いただきました。その他、令和6年度税制改正に伴い今年の6月から始まる定額減税、中小企業向け賃上げ促進税制の拡充や適用期限が令和9年3月31日まで延長されたこと、令和6年以降の住宅借入金等特別控除の変更などについての説明があり、出席者は熱心に受講されていました。



▲古川講師



▲会場の様子

会員ニュース 1

「GWは素麺を食べよう！素麺イベント!!」を開催

小豆島手延素麺協同組合

5月3日、TAKAMATSU ORNE（高松市）において、「GWは素麺を食べよう!素麺イベント!!」が開催されました。素麺を乾かす段階で長い箸を使ってくっついた麺を引き剥す箸分け体験、豪華素麺が当たるクイズ大会、質問コーナーなど、素麺の価値や魅力を伝えるために多彩なイベントが展開され、盛況のうちにイベントを終えました。



▲箸分け体験の様子



▲クイズ大会の様子

会員ニュース 2

「香川県と災害時物資輸送
について協定」締結

赤帽香川県軽自動車運送協同組合

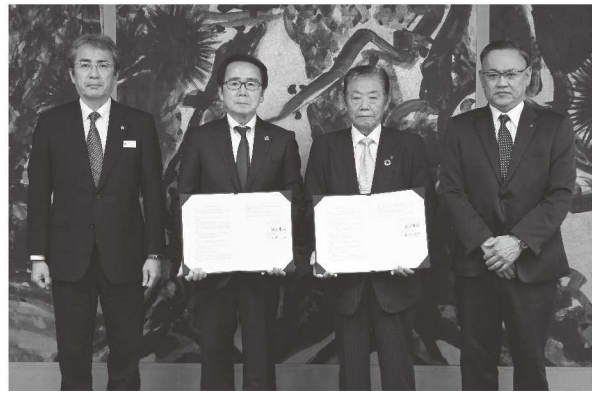
5月14日、赤帽香川県軽自動車運送協同組合と香川県が災害時における物資などの輸送について協定を結びました。協定では、大規模災害の発生時、香川県の要請で組合の所有する軽トラックを活用し、応急対策に必要なブルーシートや蓄電池、生活必需品といった物資の輸送などを行うことを申し合わせました。今回の協定締結により、小回りの利く赤帽の軽トラックは、大型車の入れない山道などでも輸送が可能になり、災害発生時にさらに多くの人々に物資を届けることができるようになりました。

同組合はこれまでに香川県内で多くの市町村と同様の協定を結んできました。協定を締結していない小豆島、土庄、直島の3町については、今回の締結を通じて、香川県の要請に基づいて災害が発生した時の輸送業務を行う体制が整いました。

香川県庁で行われた締結式では、池田香川県知事と貞野理事長がそれぞれ締結書にサインをしました。



▲締結式の様子



▲池田香川県知事と貞野理事長

FROM青年部

第120回理事会を開催

本会青年部は5月24日、各組合青年部代表者19名の出席のもと、第120回理事会を高松市内において開催しました。令和6年度通常総会（6月26日開催）提出議案について審議が行われ、引き続き開催された懇親会では会員間の親睦が深められ、盛況のうちに終了しました。













▲開会挨拶を行う木村会長



▲懇親会の様子

全国では主要3指標とも改善したが、香川県では 収益状況以外悪化となった。

2024年4月

製造業	食料品 	<ul style="list-style-type: none"> ●4月から輸入小麦が5銘柄平均で0.6%引下げられたこと及び輸送費が上昇していることを踏まえ、大手製粉業者から業務用小麦粉価格の発表があった。7月1日納品分より業務用(25kg当り)強力粉△30円、中力・薄力粉+110円、国産小麦粉は据え置きとなる。(製粉製麺) ●組合員の出荷量推移は前月対比133.1%、前年同月対比で98.5%(3月分)である。(調理食品) ●日本冷凍食品協会による2月の冷凍食品生産数量は昨対97.6%となり、2022年9月以降18か月連続で前年同月実績割れとなっている。カテゴリー別ではフライ揚げ物類が90.0%、フライ類以外の調理食品が98.5%、菓子類が104.6%となり、12月・1月に続いて菓子類のみ前年を上回った。業態別では市販用が95.0%、業務用が102.8%と市販用は大きく前年を下回り、業務用は前年を上回った。為替や海外からの供給数量減少などの影響で主要原材料は高騰に加えて、調達そのものが厳しくなってきた。適正価格での製品への価格転嫁が調達面でも必要になってきている。(冷凍食品)
	繊維工業 	<ul style="list-style-type: none"> ●皮革・合成皮革手袋については上向く気配もなく弱含みは続いている。繊維製手袋についても価格帯は下がっており皮革ほどではないが悪化している。今後はUVカット商品の動きに注目している。(手袋)
	木材・木製品 	<ul style="list-style-type: none"> ●製造事業者、販売小売事業所ともに業況は悪化している。この先、円安が進めばさらに原材料価格は値上がりし、収益悪化を危惧している。ウッドショック時よりもダメージは大きい。(家具) ●新設住宅の減少により木材流通は低下している状況下で、需要減少のため原木は高値にも関わらず木材製品価格を下げる所も出てきている。輸入材は円安の影響もあり、値上げの傾向である。(製材) ●新築住宅着工戸数の減少、外材の値上げ、円安など厳しい情勢に堪える状況が続いている。(木材)
	印刷 	<ul style="list-style-type: none"> ●年度末までは仕事量もあり忙しくしていたが、4月に入るなり仕事が極端に減り、残業も無く機械を回す。定時内での仕事量も空いてしまっている状況である。通常であれば、モノが動く時期であり、忙しくなる時期にもかかわらず、苦慮している。
	窯業・土石製品 	<ul style="list-style-type: none"> ●製造の際に必要な工具や機械のメーカーが商品の製造中止を決めている。今後修理を行いなから、どうにか息をつないでいくことになるが、次第に修理の技術を持つ人材も少なくなる。不安しかない。(石材加工) ●4月からの端材処理の値上げのため、端材投棄が多く組合の売上は増加した。しかし、端材処理、機械工具、燃料費等の値上げで組合員においては、引き続き苦しい状況が続いている。(石材)
	鉄鋼・金属製品 	<ul style="list-style-type: none"> ●前月に引き続き、受注・生産ともに低調である。(鋳物) ●概ね各社、売上高が減少傾向である。受注量も減少傾向なので今後の動向も注視が必要である。(鉄鋼) ●我々鉄骨FAB業界は、一般的に県内物件は少なく仕事量を確保するのが困難になっており先行き見通しも不透明な状況にある。そのような環境の中、技術者不足とコスト高騰の問題(価格転嫁)、また適正価格維持の問題など課題が山積している。特に鉄骨製作図の作成に関する問題を是正・解消の早期解決が重要となっており、契約における慣習も今の時代に合わせ認識を変えていかなければならないと思う。(建設用金属)
	輸送用機器 	<ul style="list-style-type: none"> ●前月同様に安定操業が続いている。業況に変化はない。(造船)
その他 	<ul style="list-style-type: none"> ●注文案件数は増加しているが、数量は小口化している。(団扇) ●県内の景気はインバウンドなどにより少し良くなっているようだが、漆器業界はまだ良くない。材料の高騰など先の見通せない厳しい状況が続いており組合員各社、鋭意努力を求められる。(漆器) ●経費は上昇しているが販売単価が上げられない状況が続いている。(綿襪) 	
非製造業	小売業 	<ul style="list-style-type: none"> ●輸送問題の中、産地からの品物が1日余分にかかるため、品質に少し難がある。また、すぐに入荷しない物があるので在庫を持たなければならず、品物ロスが少しずつ増えている。(青果物) ●激変緩和措置の継続が行われているが具体的な事業期間や出口戦略等については現在示されていない。円安等経済情勢が不安定なため、注視する必要がある。コロナ感染性が5類に移行されて初めてのゴールデンウィークとなる。県内、県外の移動に伴う燃料需要の増加に期待している組合員は多い。販売価格においては、今のところ安定しているが、県外安売り業者の動向を注視している。(石油) ●廃業で組合脱退に歯止めがかからない。LINEグループを作り情報伝達の迅速化を図っている。ただ、組合内の3割しか登録していない。組合も人員不足で組織が上手く回っていない。(電機)
	商店街 	<ul style="list-style-type: none"> ●インバウンド客も着実に増えており、商店街の通行量はコロナ禍前とほぼ同等に回復している。ただ、コロナ禍前と比べて若い人の比率が多く、高齢者の通行割合は少なくなった印象である。コロナ禍を通し、高齢者の生活習慣に変化が起こり、外出の頻度が下がっているように思える。高松オルネのオープンが商店街内のお土産品になりそうな菓子やケーキの小売店に若干のダメージはあるもののおおよ他の店舗に大きな影響はなかった。商店街で運営している市内循環バスの乗車率が高松オルネオープン以来、従来の1.5倍の伸びで推移している。4月に入り、気温も上昇し、季節関連の商品や衣料品の動きが良かった。ただし、消費は二極化が顕著で、ここ数年続く物価高により庶民の財布のヒモは固く慎重な消費が基本である。一方でブランドや品目は限られるが相変わらず高額品(一部の雑貨、時計、美術品他)の需要は好調である。また、レジャーや旅行関連商品は好調であり、宿泊や観光関連、観光客需要のある飲食店の数字は高止まっていると見られる。小売店では生活防衛色の強い地元客中心の店舗は数字が伸び悩み、インバウンド客の消費が取り込めると伸びを示す状況となることから、インバウンド客の消費取り込みが数字伸長の鍵となっている。昨年末から今春にかけて、JR高松駅から商店街にかけてのエリア内でマンションが250戸程竣工していることから続々と入居引っ越しが始まっており、今夏にかけて数百人規模で居住者が増える見込みで益々賑わいや消費の活性化に寄与すると期待している。(高松市①)

Industry Information

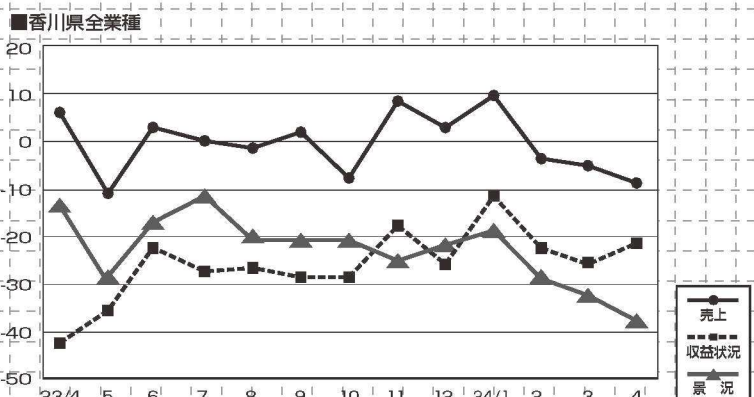
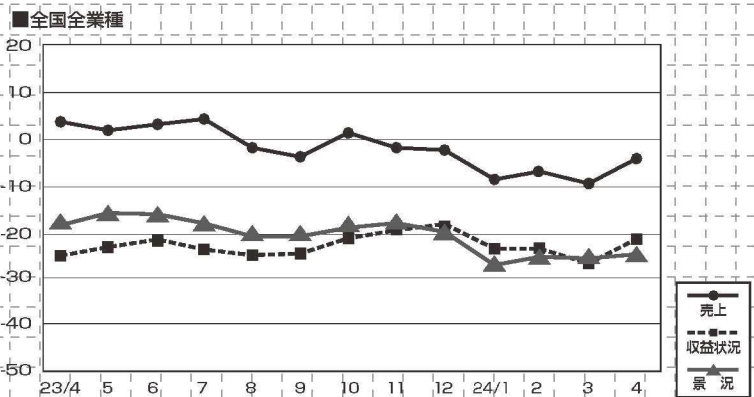
4月の県内景況は、前年同月と比べて売上高DI値は-8.3ポイントで前月調査の-4.2ポイントから4.1ポイントの悪化、収益DI値は-20.8ポイントで前月調査の-25ポイントから4.2ポイントの改善、景況DI値は-37.5ポイントで-31.3ポイントから6.2ポイントの悪化となった。

非製造業	 <p>●売上について、4月に入って20日間程は昨年と及ばなかった。月末迄に僅かではあるが伸ばすことができた。厳しいのは物価高騰で一般的な商品の買い控えがみられ、また売れ筋商品になるとメーカーでも準備できない品不足状態である。1~2年で解消できることではないと考えている。商店街は歓迎会等の行事の流れの人達を含め夕方からは大勢の人達でにぎわっていた。20日頃からは家族連れも多くなり25日頃からはピークで多数の飲食店前に入店待ちの列ができて活気を帯びていた。(高松市②)</p> <p>●パン屋が高松市に移転し、商店街にパン屋がなくなった。飲食店の開店がみられた。5月は丸亀お城まつりということで、コロナ感染症も収まり上げ潮ムードである。(丸亀市①)</p> <p>●消費の状況は、相変わらず低調で「売れない」という声ばかりを耳にする。4月3日に、商店街近郊に四国初出店の大型ディスカウントストアがオープンした。店舗面積が5千平方メートル、24時間営業で今はこちらに人が流れているようでJR駅に併設されているスーパーも来客が減っているように見える。(丸亀市②)</p> <p>●当店のす向かいの飲食店が入っていた空き店舗に建屋内の工事を終えた菓子店の工場が稼働して人の流れが少々増えた。平成2年4月に当振興組合が発足し、再開発高度化事業がスタートして34年になる。先鋒を切って当店が平成6年10月にオープンして30年が経過した。良いも悪いもひとつの実証実験の結論を語る時期かも知れない。(観音寺市)</p>
	 <p>●先月よりは売上は多少減少しているが好調である。受注の数も増えてきており、処理が大変になってきている。人材不足が深刻であり、様々な手法を試しているが雇用が困難である。(ディスプレイ)</p> <p>●4月は比較して好調に推移している。ただ、GWを超えてからは非常に厳しい。5月後半から7月前半まで、多くの施設がコロナ禍の低価格での競争を余儀なくされると予測する。(旅館)</p> <p>●物価高や仕入れ価格の上昇に伴い販売価格の見直しを開始している。(情報)</p> <p>●全国理美容製造者協会が2023年5月サロンユーザー調査「男性版」を発表した。男性の美容室市場規模は推計で約3520億円である。サンプルデータでは、15歳から79歳までの男性で、最近1年間で美容室を利用した人が全体の26%となり、30代以下の利用者が40%以上で、全体の約半分の売上を占めている。40代以上は、年代が上がるほど利用者が減り、売上比率も低下しているとの報告が出ている。(美容)</p>
	 <p>●慢性的な人手不足の問題は依然課題としてあげられるが、その対策の一つとして自社のSNS投稿に力を入れている所が増加傾向にある。就職活動時にSNSを活用する若年者は多いようで、そういった効果もあってか、新規入職者の受入を実施できた企業が増えた。メディアでは発信されにくい業界の良さを自社で発信していくことは、費用対効果が非常に高いといえる。(総合建設)</p>
	 <p>●令和6年3月の運送実績は対前年同月比で営業収入104.8%と増加し、輸送人員は99.4%と減少した。(タクシー)</p> <p>●令和6年3月分高速道路通行料利用額の対前年同月比は、2.7%減となり、対前月比では8.4%増となった。なお、令和5年度の対前年度比では、3.0%減となった。また、3月分利用車両数の対前年同月比は、3.5%減となった。(トラック)</p>

香川県内の業種別DI値の変化 (対前年同月比)

	売上高	収益状況	業界の景況	
製造業	食料品			
	繊維工業			
	木材・木製品			
	印刷			
	窯業・土石製品			
	鉄鋼・金属製品			
	輸送用機器			
	その他			
非製造業	卸売業			
	小売業			
	商店街			
	サービス業			
	建設業			
	運輸業			
その他				

DI値の推移 (対前年同月比)



※集計結果の詳細は、本会ホームページ上でご覧になれます。
<http://www.chukai-kagawa.or.jp/>

商工中金だより

お客様のライフステージごとの経営課題に着目し、特に商工中金として事業性評価能力を向上し、積極的に強化していく3つの分野(カテゴリー-S・E・T)を「差別化分野」と位置付けました。お客様の企業価値向上とともに、商工中金自身の長期的な収益基盤拡大や適切なリスクテイクを通じた持続的成長のため、今後、積極的に対応力向上を図っていく分野です。

Startup (スタートアップ支援)

スタートアップ特有の課題を踏まえた 一気通貫のサポート	<ul style="list-style-type: none"> ▶ファイナンスを中心とする適切なリスクテイク ▶メザニンファイナンス、外部アライアンスの活用 ▶ビジネスマッチングを通じたセールスサポートの強化
--------------------------------	--

Esg (サステナブル経営支援)

“SPEED”の視点*を活用した 事業性評価やお客さま支援を推進	<ul style="list-style-type: none"> ▶CO2排出量削減コンサルティング等、サービス拡充 ▶従業員エンゲージメント向上、BCP策定支援等 ▶中小企業組合、関係会社等との連携
-------------------------------------	---

*商工中金が独自に定めた、組織・職員のサステナビリティに対する取組みの基本的な視点。
SPEED…Sustainability, Productivity, Empathy, Ecology, Digitalの頭文字

TurnAround (事業再生支援)

専門性向上と対応力の底上げにより、 事業再生のトップブランドを構築	<ul style="list-style-type: none"> ▶経営危機の未然防止と危機状態からの脱却支援 ▶多様なキャリアを持つ専門チームによる高度な支援 ▶人的資本の充実に向けたサポート強化
--------------------------------------	--

〈お客さまライフステージ〉



本業支援 事業性評価を起点とした本業支援

- ビジネスマッチング ○海外展開支援 ○事業承継 ○M&A 等

金融支援 お客さま支援の基本となる金融支援

- 資金繰り対策融資 ○セーフティネット機能の発揮 ○財務構築改革支援
- 成長投資支援 等

なお、詳細につきましては、商工中金高松支店までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】
株式会社商工組合中央金庫
高松支店
〒760-0052 高松市瓦町 1-3-8
TEL.087-821-6145
FAX.087-851-6074

日本政策金融公庫だより

新型コロナウイルス感染症の影響により、一時的に業況悪化を来しているみなさまを対象とした「新型コロナウイルス感染症特別貸付」を取り扱っております。くわしくは、支店の窓口までお問い合わせください。

○新型コロナウイルス感染症特別貸付の概要

ご利用 いただける方	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、一時的な業況悪化を来している方であって、次の1から3のいずれかに該当し、かつ中長期的に業況が回復し、発展することが見込まれる方 1.最近1か月間の売上高または過去6か月(最近1か月を含みます。)の平均売上高が前6年のいずれかの年の同期と比較して5%以上減少している方 2.業歴3か月以上1年1か月未満の場合等は、最近1か月間の売上高または過去6か月(最近1か月を含みます。)の平均売上高(業歴6か月未満の場合は、開業から最近1か月までの平均売上高)が次のいずれかと比較して5%以上減少している方 (1)過去3か月(最近1か月を含みます。)の平均売上高 (2)令和元年12月の売上高 (3)令和元年10月から12月の平均売上高 3.債務負担が重くなっている方(注1)		
お使いみち	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う社会的要因等により必要とする設備資金および運転資金		
融資限度額 (いずれも別枠)	国民生活事業	8,000万円	
	中小企業事業	6億円	
ご返済期間 (うち据置期間)	設備資金20年以内(うち据置期間5年以内) 運転資金20年以内(うち据置期間5年以内)		
利率(年) (注2)	国民生活事業	6,000万円以内の部分	融資後3年目まで: 基準利率-0.5% 4年目以降: 基準利率
		6,000万円を超える部分	基準利率
	中小企業事業	4億円以内の部分	融資後3年目まで: 基準利率-0.5% 4年目以降: 基準利率
		4億円を超える部分	基準利率
担保	無担保		

(注1)一定の要件を満たす必要があります。要件の詳細は、お近くの支店にお問い合わせください。

(注2)基準利率は、災害発生時の融資制度に適用される利率(融資期間に応じた所定の利率)が適用されます。主な貸付利率は日本公庫HPをご覧ください。

〈支店窓口〉 株式会社 日本政策金融公庫 高松支店
URL : <http://www.jfc.go.jp>
〒760-0023 高松市寿町 2-2-7 いちご高松ビル 2・3階

国民生活事業 (2階) Tel.0570-085-298 Fax.087-822-9274
中小企業事業 (3階) Tel.087-851-9141 Fax.087-822-1423
農林水産事業 (3階) Tel.087-851-2880 Fax.087-822-7350

香川労働局からのお知らせ

厚生労働省は、企業の魅力向上や人材確保・定着に役立ち、環境整備につながる3つの認定制度を設けているため、取得を御検討ください。

まず、「えるぼし認定制度（※1）」は、職業生活において、女性の個性と能力が十分に発揮できる社会を実現するため定められた「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」による認定制度で、女性の活躍推進に関する取り組みの実施状況が特に優良である等の一定基準を満たした場合に「プラチナ」認定されます。

次に、「くるみん認定制度（※2）」は、次代の社会を担う子供が健やかに生まれ、育成される環境を整備するために定められた「次世代育成支援対策推進法」による認定制度で、不妊治療と仕事との両立支援に取り組む企業を認定する「プラス」認定制度も始まっています。

最後に「ユースエール認定制度（※3）」は、若者の雇用促進を図り、その能力を有効に発揮できる環境を整備することを目的とした「若年者雇用促進法」による認定制度です。

これら認定制度共通のメリットは、「自社の商品、広告などに認定マークを使用できる」「日本政策金融公庫から低利融資が受けられる」「公共調達で加点評価が受けられる」ことです。認定制度の詳細については、ホームページ等で確認をお願いします。

上記について、※1及び※2については香川労働局雇用環境・均等室、※3については職業安定課まで御相談ください。

【香川労働局 雇用環境・均等室】

取扱時間：平日 8:30～17:15

〒760-0019 高松市サンポート 3-33 高松サンポート合同庁舎北館 2階
TEL 087-811-8924

【香川労働局 職業安定課】

取扱時間：平日 8:30～17:15

〒760-0019 高松市サンポート 3-33 高松サンポート合同庁舎北館 3階
TEL 087-811-8922

BOOK RANKING 県内ベストセラー



順位	書名	著者	出版社／定価
1	成瀬は天下を取りにいく	宮島未奈	新潮社／1,705円
2	変な家2 ～11の間取り図～	雨穴	飛鳥新社／1,650円
3	変な絵	雨穴	双葉社／1,540円
4	成瀬は信じた道をいく	宮島未奈	新潮社／1,760円
5	書いてはいけない	森永卓郎	フォレスト出版／1,650円

香川県書店商業組合調べ